

教科名	英 語	科目名	コミュニケーション英語Ⅰ	単位数	単位 2
学年	第 2 学年		男子 3 名 女子 4 名 計 7 名		
教科担任氏名	板東 三春		使用教科書	All Aboard English CommunicationⅠ	
科目の目標	外国語を通じて、言語や文化に対する理解を深め、積極的にコミュニケーションを図ろうとする態度の育成を図り、情報や考えなどを的確に理解したり適切に伝えたりするコミュニケーション能力を養う。				

評価の観点	趣 旨 (基準)	配 分
観点 1 知識・理解	英語やその運用についての知識を身に付けているとともに、言語の背景にある文化などを理解している。 (基準) 英語の仕組み、使われていることばの意味や働きなどを理解するとともに、言語の背景にある文化を理解している。主に定期考査により判断する。	25%
観点 2 技能・表現	英語を聞いたり読んだりして、情報や考えなどを的確に理解している。 (基準) 英語を聞いて、情報や考えなどを理解したり、概要や要点をとらえたりすることができる。主にスピーキングテストにより判断する。	25%
観点 3 思考・判断	英語で話したり、書いたりして、情報や考えなどを適切に伝えている。 (基準) 情報や考えなどについて、英語で話し合ったり意見の交換をしたりすることができる。また、それらについて、英語で簡潔に書くことができる。	25%
観点 4 関心・意欲・態度	コミュニケーションに関心を持ち、積極的に言語活動を行い、コミュニケーションを図ろうとする。 (基準) 授業中の言語活動に積極的に取り組んでいる。課題等を提出している。他の生徒の迷惑となる行為をしていない。	25%

月	時間数	学 習 内 容	関・意・態	思・判	技・表	知・理	評価方法
4	6	Lesson 6 A Funny Picture from the Edo Period 奇想天外な浮世絵師、歌川国芳とその作品についてスピーチをする。本文語数 157 語 (表現) 好きな絵や写真について、英語で述べるができる。	○		○	○	・授業中のコミュニケーション活動 ・週末課題 ・スピーキングテスト ・定期考査
5	7	Lesson 7 Living on Ice 絶滅の危機に瀕している皇帝ペンギンを通して、地球の環境問題について考える。本文語数 156 語 (表現) 環境を守るためにできることについて、英語で述べるができる。	○	○	○		
6	7	Lesson 8 Building Trust in Space 日本人で初めて国際宇宙ステーションのキャプテンを務めた若田光一さんを紹介する。本文語数 168 語 (表現) 理想の人物について英語で述べるができる。	○		○	○	
7	5	Lesson 9 Pigs from across the sea 修学旅行先として人気のある沖縄の歴史について学ぶとともに、ハワイの沖縄出身の日系アメリカ人が、戦後間もない沖縄に救いの手を差し伸べたことを学ぶ。	○	○	○		・授業中のコミュニケーション活動 ・週末課題 ・スピーキングテスト ・定期考査
8	4	(表現) 場所の特徴について関係代名詞を使って正確に表現する。					
9	6	Lesson 10 I Am Maklala. 教育を受ける権利を訴えるマララさんのことを知り学校や学ぶことについて考える (表現) 地域の問題点とその改善方法に対する自分の考えについて聞き手に正確に、かつ適切に伝えることができる。	○	○	○		・授業中のコミュニケーション活動 ・週末課題 ・スピーキングテスト ・定期考査
10	8	Reading 1 Short Stories in English 3つのショートストーリーを読み、それぞれの場面や心情を読み取ってユーモアを理解する (表現) 登場人物の気持ちを考えながらベアになって音読する。	○		○	○	
11	7	Reading 2 Alone 仲良しのガム君とカエル君の友情についての物語を読み場面や心情を読み取る。 (表現) 正しい強制を用いたり、適切に区切ったりして音読できる。語と語の結びつきに気を付けて音読できる。場面や登場人物の心情に応じた音読ができる。	○		○	○	・授業中のコミュニケーション活動 ・週末課題 ・スピーキングテスト ・定期考査
12	6						
1	4						
2	7						・授業中のコミュニケーション活動 ・週末課題 ・スピーキングテスト ・定期考査
3	4						